

# 1121人の讃歌 御影堂に響く



## 本願寺音御堂2016



伝灯奉告法要の協賛行事「本願寺音御堂2016」が11月17日、本山・御影堂で行われ、全国から集まったコーラスグループ95団体1121人が仏教讃歌を奏でた。本願寺派総合研究所の

伝灯奉告法要にぎわう協賛行事

ひかけ、スタートした。まず、声楽家・安藤常光さん（大分市・佛言寺衆徒）の調声で音楽礼拝を行った。この後、親鸞聖人が撰述された和讃を詞とした「弥陀の名号となへつつ」、前裏方さまが作詞された「お名前よべば」（3面参照）など8曲を演奏、美しい歌声が御堂いっぱい響き渡った（写真）。指揮は大分哲照さん（福岡県飯塚市・明圓寺住職）と安藤さんが行った。

三重県四日市市から参加した田中仿子さん（69）は「練習してきた歌を皆さんと一緒に歌えてすがすがしい。お御堂で歌わせてもらうことは毎回感動します」、長野市から参加した海野公子さん（67）は「皆さんの歌声が大きな響きとなり、声一つになったように思えて、感動した。第2期のご法要にも参拝でき、新しいご門主さまの誕生のご縁を喜んで」と話した。

（8面に関連記事）